

講義名称	子ども家庭支援論	担当教員名	草間 吉夫
科目群	専門科目 CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の本質・内容に関する科目 選択必修	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	CMEG215

授業のキーワード	家族、多様性、ジェンダー、連携、家族理解
授業の概要	時代の中で変化し、多様化する子育て家庭を理解し、児童福祉法に定められた保育士の業務である。「児童の保護者に対する保育に関する指導」を行えるよう、基本的な知識を習得します。
期待される学習成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の多様性を知り、それぞれにあった支援の必要があることを学びます。 ・ジェンダーという視点から家族を理解できるようにします。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	序章として、何のために、何を、どのように学ぶのかを確認します。
2	家庭生活のリアリティを把握する視点	いくつかの視点をもって「家族」の多様性を捉えていきます。
3	「家族」はどう変わってきたのか	「近代家族」の成立により「主婦」化する女性の孤立と貧困について考えます。
4	家族の機能とは何か	家族の養育機能障害の現実を考えます。
5	ジェンダーの視点で家族を捉える①	家族の人間関係と性意識はどう形成されるのかを考えます。
6	ジェンダーの視点で家族を捉える②	家族の人間関係と性意識はどう形成されるのかを考えます。
7	地域社会と労働現場はどう変わってきたのか	人間の暮らしと働き方はどう変更されてきたかを考えます。
8	男女共同参画社会と家庭における平等①	社会と家庭における平等とは何かを考えます。
9	男女共同参画社会と家庭における平等②	社会と家庭における平等とは何かを考えます。
10	子ども家庭支援のために役立つ法律・制度	法制度を活用できるようになるために、子ども子育て支援に関する主な法律等について学びます。
11	子育て支援サービスの機能とその落とし穴	女性に向けられた支援の実際と女性役割機能の「強化」について考えます。
12	保育所による子ども家庭支援の実際と支援	保育所と家庭の共同の在り方を模索します。
13	精神障害のある保護者と子ども家庭支援	どのような配慮と支援方法が求められるかを考えます。
14	子ども家庭支援と保育者の専門性	問われる実践の力量とは何かを考えます。
15	総まとめ	これまでの学びを振り返り確認します。

定期試験	全講義を通した基礎的知識を問う筆記試験を行います。
授業時間外学習	講義で学んだことを復習する。
評価方法	授業貢献度30% 筆記試験70%
使用する教科書（必ず購入してください）	使用しない
参考文献	